

令和7年上半期消防統計(1月～6月)

【総 論】

I 119 番通報

- 119 番通報件数 2,263 件。前年同期比 123 件増加。
- 通報件数の約 6 割が救急関係の通報、件数は 1,328 件。
- まちがいでの通報が 91 件、前年同期比 13 件減少。

II 火 災

- 火災件数 7 件。前年同期比 3 件減少。
- 焼損面積、損害額及び焼損棟数は、全て前年より減少。
- 死者 2 名（前年同月比 1 名増）、負傷者 2 名。

III 救 急

- 救急出動件数 1,348 件。前年同期比 83 件減少。
- 救急搬送人員 1,274 人。前年同期比 99 人減少。
- ドクターヘリの要請件数は 22 件。前年同期比 5 件増加。連携件数は 10 件。前年同期比 6 件増加。

IV 救 助

- 救助出動件数 15 件、うち救助活動件数 6 件。
- 前年同期比で救助出動件数は 3 件減少、活動件数は 1 件減少。

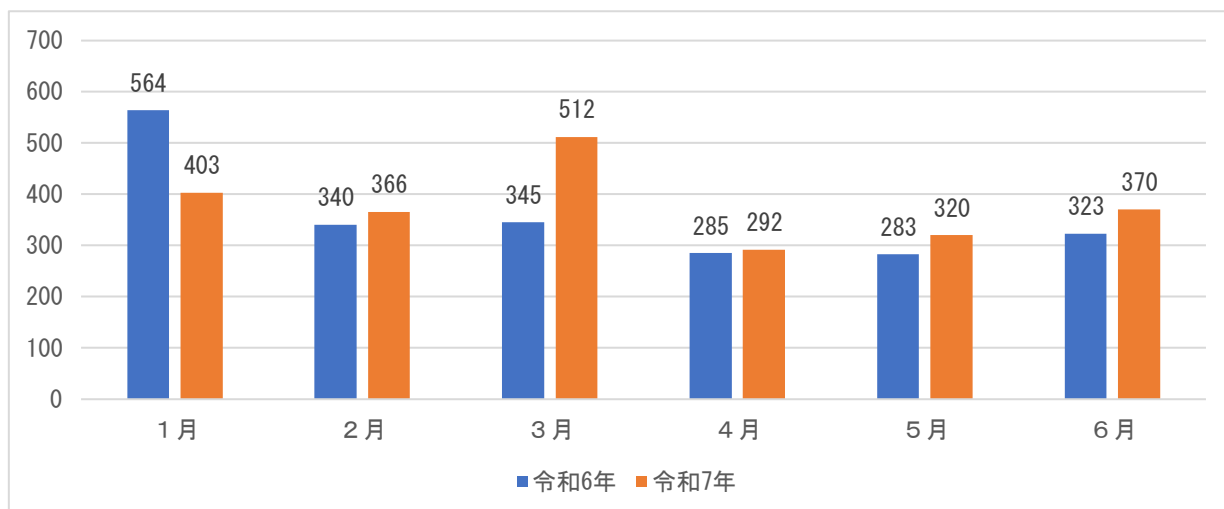


I 119 番通報

① 119 番通報は 123 件増加

119 番通報件数は 2,263 件、前年 (2,140 件) より 123 件増加しています。

月別 119 番通報受信件数(前年比)



② 119 番通報のうち約6割が救急関係

119 番通報のうち、災害事案に関する通報は 1,396 件で、前年 (1,448 件) より 52 件減少しています。119 番通報のうち、「救急関係」の通報が最も多く、1,328 件で通報全体の約 6 割を占めています。また、「問合せ」、「いたずら」、「まちがい」などの緊急性のない通報が 867 件となっています。

③ ドクターヘリの出動件数

石川県ドクターヘリの要請件数は 22 件、実際に連携したのは 10 件となり、前年同期比で要請件数は 5 件減少、実際に連携した件数は、6 件の減少となりました。

④ まとめ

今年の上半期は前年に比べ通報件数が 123 件増加しました。まちがいでの通報件数が 23 件減少しています。通報件数の増加は、救急件数の増加傾向が続いていることと、七尾鹿島消防本部との消防通信指令事務共同運用に伴い行った回線試験によるものです。

Ⅱ 火 災



① 火災件数について

火災件数は7件、前年（10件）より3件減少しています。

火災種別では、「建物火災」が4件（前年4件）、「その他の火災」3件（前年2件）でした。

市町ごとにみると、「羽咋市」3件（前年3件）、「宝達志水町」0件（前年1件）、「志賀町」4件（前年6件）でした。

令和7年中(1～6月)の火災発生状況前年比較表

市町別	年	火災件数						焼損面積			損害額(千円)						焼損棟数					死傷者数		
		計	建物	林野	車両	船舶	その他	建 物		林野(a)	計	建物	林野	車両	船舶	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	死者	負傷者	
								床面積 (㎡)	表面積 (㎡)															
羽咋市	R7年	3	1				2	133	54		33,079	33,032			14		33	4	1		3			1
	R6年	3	1				2	3	3		1,917	535					1,382	3			2	1		
	比較							130	51		31,162	32,497			14		△ 1,349	1	1		1	△ 1		1
宝達志水町	R7年																							
	R6年	1	1						3		45	45						1			1			
	比較	△ 1	△ 1						△ 3		△ 45	△ 45						△ 1			△ 1			
志賀町	R7年	4	3				1	193	22		3,766	3,766						5	1		3	1	2	1
	R6年	6	2	3	1			441	85	7	51,964	51,457	99	372		36	8	2	2	4		1	2	
	比較	△ 2	1	△ 3	△ 1		1	△ 248	△ 63	△ 7	△ 48,198	△ 47,691	△ 99	△ 372		△ 36	△ 3	△ 1	△ 2	△ 1	1	1	△ 1	
計	R7年	7	4				3	326	76		36,845	36,798			14		33	9	2		6	1	2	2
	R6年	10	4	3	1		2	444	91	7	53,926	52,037	99	372		1,418	12	2	2	7	1	1	2	
	比較	△ 3		△ 3	△ 1		1	△ 118	△ 15	△ 7	△ 17,081	△ 15,239	△ 99	△ 358		△ 1,385	△ 3		△ 2	△ 1		1		

※ △は減少(－)を表します

② 原因について

建物火災の原因は、電気又は火気使用によるもの、その他の火災の原因は、焼却行為によるものでした。（推定）

③ 損害について

損害額 36,845 千円、前年同期比 17,081 千円の減額となりました。火災件数の減少に伴い、焼損面積、損害額及び焼損棟数は、全て前年より減少しました。

④ 死傷者について

火災により2名の方が亡くなり、2名の方が負傷しました。

⑤ まとめ

火災件数は前年より減少し、火災による損害も減となりました。全国的に、火災件数は減少傾向ですが、近年、電気火災は増加傾向にあります。

当管内でも、同様の傾向が見られ、上半期の建物火災のうち半数が、電気に起因するものです。

また、各報道等で取上げられておりますが、全国ではリチウムイオン電池の火災が日々発生しております。当管内においても類似火災の発生が危惧されることから、「夏場のリチウムイオン電池」についてホームページ等で広報しており、今後、関係機関と協力し、さらに広報の充実・強化を行ってまいります。

あなたの、車の中は大丈夫!?

～リチウムイオン電池の火災に注意～

「リチウムイオン電池搭載製品」は私たちの生活に欠かせない存在ですが、事故は年々増加しており、特に夏場に増加する傾向があります。

今すぐ確認!!

モバイルバッテリーや携帯用扇風機などを車内に置いたままにいませんか？

高温環境下では熱の影響で異常な反応が起きて発熱・破裂・発火するおそれがあります。
直射日光の当たる場所や暑い日の車内などの高温下には放置しないでください。

携帯用扇風機

自動車内でモバイルバッテリーが発火する様子

- 万が一発火した場合、煙や炎が噴き出している時は絶対に近寄らないでください。
- 小型サイズのものであれば、火花が収まったら、大量の水を掛けることで消火することができます。
- 消火後は、可能な限り水没させた状態で、消防機関へ通報してください。

モバイルバッテリー

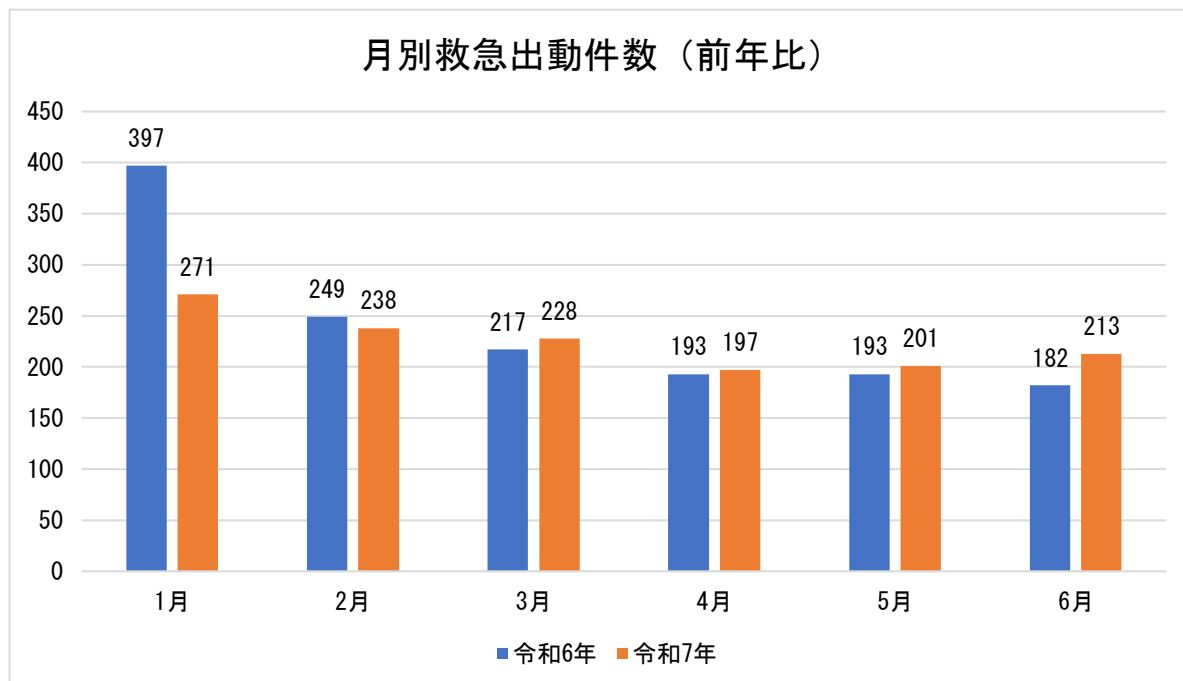
羽咋郡市広域圏事務組合消防本部

【羽咋郡市広域圏事務組合消防本部ホームページより】



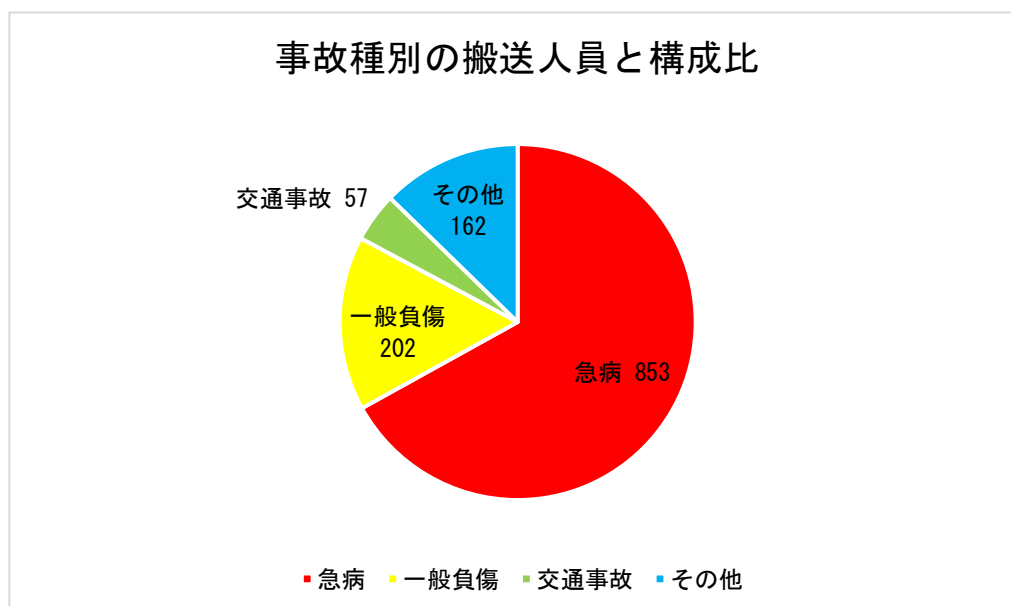
① 救急出動件数は前年より83件減少

救急出動件数は1,348件、前年（1,431件）より83件減少しています。
救急搬送人員は1,274人、前年（1,373人）より99人減少しています。



② 事故種別救急搬送 1位「急病」、2位「一般負傷」、3位「交通事故」

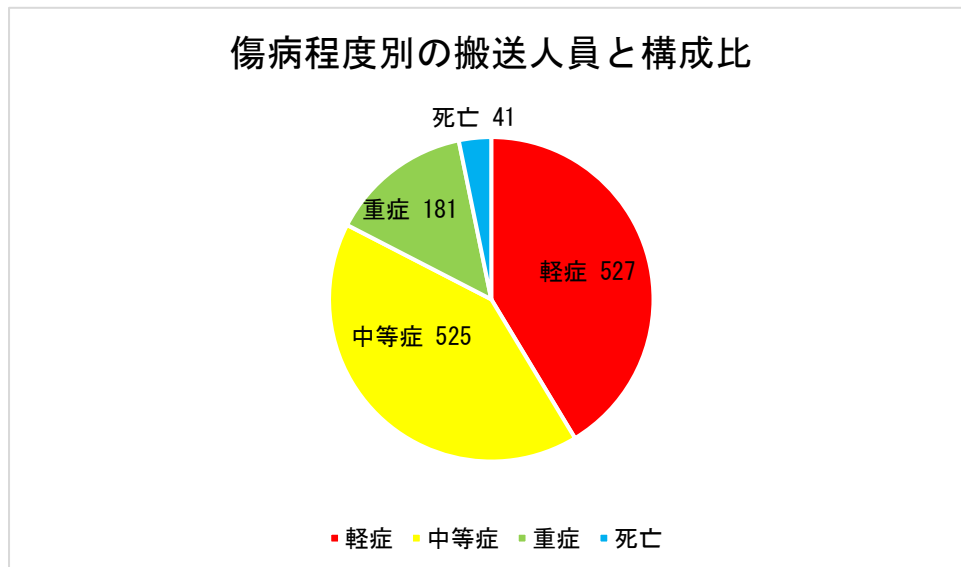
事故種別ごとの救急搬送人員は、1位が「急病」853件、2位が「一般負傷」202件、3位が「交通事故」57件、その他が162件の順となっています。



③ 救急搬送人員の約8割が軽症又は中等症

傷病程度別による搬送人員は、軽症が 527 人、中等症が 525 人、重症が 181 人、死亡が 41 人でした。軽症及び中等症が 1,052 人で、全体の約 8 割を占めています。

前年は、軽症が 554 人、中等症が 580 人、重症が 195 人、死亡が 44 人でした。軽症及び中等症の合計が前年（1,134 人）に比べ 82 人減少しています。



④ まとめ

昨年は 1 月 1 日の能登半島地震の影響により、救急出動件数及び救急搬送人員は例年に比べて大幅に増加しました。令和 7 年は、昨年と比較すると出動件数及び搬送人員は減少していますが、例年と比較すると増加傾向にあります。救急搬送人員における軽症及び中等症の割合は、それぞれを合わせると約 8 割を占めています。引き続き、圏域住民に対して救急車の適正利用を呼び掛け、理解と協力を求めていく必要があります。

IV 救 助



① 救助出動件数及び救助件数

救助出動件数は15件、前年（18件）より3件減少しています。
また、救助活動件数は6件、前年（7件）より1件減少しています。

事故種別		件数等	出動件数	活動件数	救 助 人 員		
					合計	男	女
前 の 年 比 と 較	令和6年		18	7	9	6	3
	令和7年		15	6	7	6	1
火 災	建 物						
	建物以外						
交 通 事 故			7	1	1	1	
水 難 事 故			1				
風 水 害 等 自 然 災 害							
機 械 に よ る 事 故							
建 物 等 に よ る 事 故			2	2	2	1	1
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故							
破 裂 事 故							
そ の 他 の 事 故			5	3	4	4	

② 事故種別出動件数

事故種別出動件数は、交通事故が7件で全体の約4割を占め、その他の事故が5件、建物等による事故が2件、水難事故が1件となっています。

事故種別		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 風 然 水 災 害 等	事 機 械 に よ る	事 建 物 等 に よ る	事 ガ ス 及 び 酸 欠	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
月 別	1月			1	1			1			1	4
	2月			1							1	2
	3月			2								2
	4月			1							1	2
	5月							1			1	2
	6月			2							1	3
合 計				7	1			2			5	15

③ まとめ

令和 7 年上半期は、救助出動件数が前年と比較して 3 件減少しました。前年は 1 月 1 日の能登半島地震の影響による風水害等自然災害が 5 件であったのに対して今年は 0 件と大幅に減少しました。一方でその他の事故が 5 件であり、昨年（2 件）より 3 件増加し、過去 5 年間で最多の件数となりました。その他の事故種別出動件数は昨年と同数となっています。

年 別 事故種別		令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
合 計		10	10	18	18	15
火 災	建 物			2	1	
	建物以外					
交 通 事 故		3	6	8	7	7
水 難 事 故			1	4	1	1
風水害等自然災害					5	
機 械 に よ る 事 故				1		
建物等による事故		3	1	2	2	2
ガス及び酸欠事故						
破 裂 事 故						
そ の 他 の 事 故		4	2	1	2	5

屠 龍 技



～プロとして、災害に備え常に訓練を重ねる～